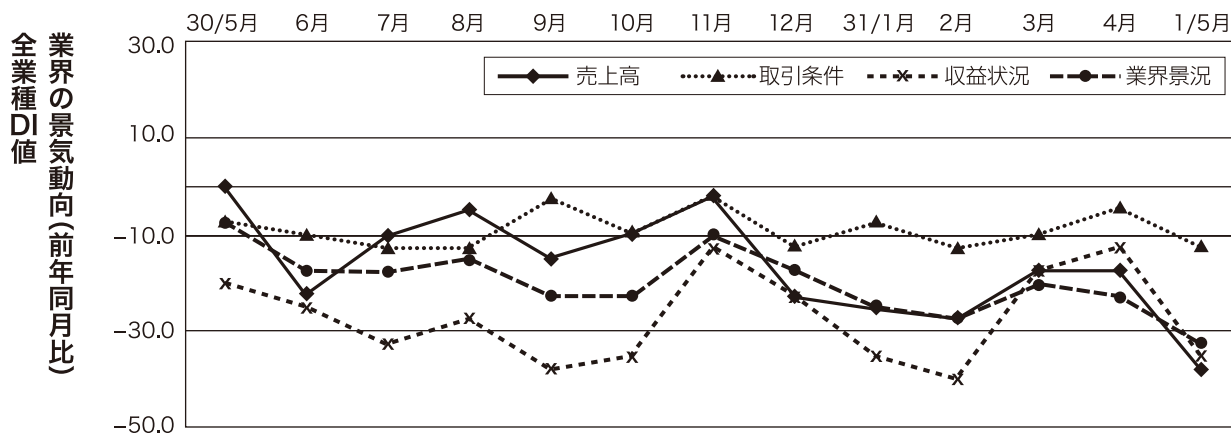




業界の今

情報連絡員報告より
5月の業界の動き

◆ 令和元年5月度 情報連絡員報告 ◆



	30/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	増減
売上高	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-20.0
取引条件	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-7.5
収益状況	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-22.5
業界景況	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-10.0

概要

令和元年5月度の前年同月比DI値の推移は前月に比べ、「売上高」は-20.0ポイント、「取引条件」が-7.5ポイント、「収益状況」は-22.5ポイント、「業界景況」は-10.0ポイント悪化し、5月は全項目とも悪化に転じた。

改元に伴うゴールデンウィーク10連休の影響で、業種や取り扱う製品により、景況感にはばらつきが見られるが、売上高の低下を招く結果となった。人材不足や労務単価の上昇など、厳しい環境が続いており、県内中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

人手不足が今後の課題(旅館)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	豆腐	例年に比べ、気温が高く冷却設備の電気代が高くなり、その分収益が圧迫された。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は4月同様全体的には減少傾向であった。自動車関連部品は自動車メーカーにより増加した物、減少した物とに分かれた。また産業機械関連部品、半導体関連部品は長引く米中貿易戦争の影響を受け、減少傾向が続く。しかしながら、半導体業界でもやや増加に転じたところもあり、動向を見守っているような状況である。
	一般機器	津市	例年5月はGW休みがあるので、売上は他の月と比べると低調ではあるが、昨年と比べても特に変わらない状況であった。GWで生産が遅れているものについては挽回したい所ではあったが、材料メーカーや納品先も休みのため、何もできず他の企業と休みを合わせるしかなかった。
非製造業	商店街	熊野市	今年のGWの集客施設での入込数は10連休になったこともあり、昨年より大きく伸ばし、外国人客の姿も例年以上に増えている感じがした。また今月末には駅前で開催された市主催のイベントは今年も商店街の朝市イベントとの連携を図り、より一層の集客効果を高め、出店業者全体の売上も飛躍的に伸びた。
	サービス業	旅館	初めての10連休で注目されていたが、早くから満室になっていた施設が多かったようである。天候にも恵まれたため、各地とも連日の満館で人手不足が今後の課題となった10日間だった。その後は想定していた以上に谷間が長く、6月迄も影響が出そうで、5月全体の営業実績は昨年並みであった。
	建設業	総合工事業	公共建設工事発注状況：前年同月比率約50%減。4/1から5/31は前年同期比率約25%減。国の大型補正の発注が終了したこと、今年度予算による発注が始まっていないことによると考えられる。6月以降の今年度予算にて発注に注視する必要がある。